

令和3年8月24日 第60回東海再処理施設安全監視チーム会合
議論のまとめ

令和3年8月24日
東海再処理施設安全監視チーム

- 本資料¹は、令和3年8月24日の東海再処理施設安全監視チーム（以下「監視チーム」という。）の第60回会合における議論について、監視チームから日本原子力研究開発機構（以下「機構」という。）に対する主な要求事項を整理し、東海再処理施設の安全対策に係る議論を簡易的にまとめたものである。

1. 次回廃止措置計画申請の内容について（資料2～6）

【監視チームの指摘】

- 9月末に申請を予定している次回廃止措置計画変更認可申請について、本日の説明を受け、これまでの監視チームにおける議論を踏まえたものとなっていると理解した。内容を十分精査して申請すること。
- 南東地区からプルトニウム転換技術開発施設（PCDF）管理棟駐車場へのアクセシビリティについて、地震及び津波の重畳を想定し、敷地内の被害状況を整理してルートを設定されていると理解した。今後も訓練を実施して実効性を高めていくこと。また、より確実なアクセスルートについても継続的に検討していくことが重要であり、必要に応じて廃止措置計画に反映すること。

【機構の回答】

- 申請に当たっては十分に精査した上で行う。
- 南東地区からPCDF管理棟駐車場へのアクセスルートについては、訓練を実施して有効性を高めていく。また、アクセスルートの確実性を高めるために継続的に改善していく。

2. 安全対策に係る保安規定の変更について（資料8）

【監視チームの指摘】

- これまでの廃止措置計画変更認可申請において記載した安全対策のうち保安規定に反映させるべき事項については、工事の進捗や資機材の配備状況等に応じて変更時期が異なることから、網羅的に抽出した上で申請漏れがないようにすること。また、変更時期についてもおおよそで良いので併せて整理し、申請計画表を作成して監視チームにおいて説明すること。

【機構の回答】

- 保安規定に反映させるべき事項については、項目に対応した時期を整理して漏れがないようにする。次回以降の監視チームにおいて申請計画表を示す。

¹ 本資料は、会議の進行と同時並行で作成していることから、正確な表現ではない部分があります。また、誤字脱字、体裁等については、会議後に修正のうえホームページに掲載しています。